

一般質問



台東区議会自由民主党・無所属の会

いしづか たけし
石塚 猛

まちづくりについて

問 本区では、各地区まちづくり協議会等が活発に活動し、再開発や地区整備が進んでいる地区もある一方、順調に進捗していない地区もある。これからのまちづくりについての認識と今後の進め方について、所見を伺う。

答 地域の課題解決をはじめ、景観、防災まちづくりの推進を目標にしたまちづくり協議会が区内各地で活動している。御徒町駅周辺では、区民、事業者で立ち上げた協議会と周辺商店街等との連携で地区のまちづくりが着々と進んでいる。これからのまちづくりでは、高齢化や防災等の課題も一層視野に入れ、地域の方々や事業者と共に課題と将来像を共有することが基本で

その他の質問項目

1. 旧東京北部小包集中局の活用について
2. 指定管理者制度を導入している施設の労務環境について

あると認識している。このことを踏まえ、区がマネジメント能力とリーダーシップを積極的に発揮し、魅力と活力にあふれ、人々がいきいきと暮らすことができるまちづくりの実現に努めていく。

学校教育における社会保険等の教育の実施について

問 次代を担う児童・生徒が社会保険や年金の役割及び日常生活との関わりなどを知ることで、制度の必要性や社会における相互扶助の大切さを学ぶという観点から、中学校において、社会保険等の授業を取り入れるべきではないか。**答** 社会保険等については、学習指導要領において中学校社会科公民的分野に位置づけられ、社会科の教員が指導にあっている。指導にあたっては、子どもたちが社会保険の仕組みや意義を正しく理解し、社会における相互扶助の大切さを実感できるようにすることが重要である。今後は、より生徒の理解を深める上で、必要な場合については、専門的な知識を有する方にも積極的に授業に協力してもらうことを検討していく。



台東区議会区民クラブ

きのした えつき
木下 悦希

財政運営について

問 ①特別区税等が大幅な減収となっている状況の中、24年度の予算編成は非常に厳しいものであったと推測する。財政の現状と今後の見通しについて、所見を伺う。②健全な財政運営の推進のため、どのような対策を行うのか。③行政経営推進プランの達成状況と効果を伺う。また、社会情勢等を勘案した修正が必要と考えるが、どうか。④補助金交付の適正化に向けた取組みが進められているが、目的や行政経営推進プランでの位置づけを明確にすべきではないか。また、補助金の執行状況等の公表とその審査について、所見を伺う。**答** ①②平成24年度予算案では、主要な一般財源である特別区税と特別区交付金が減収となる一方、歳出では防災力の強化や生活保護費の大幅な増加などにより、基金と起債の活用額が約76億円となるなど、極めて厳しい状況に直面している。現在、財政収支推計の試算等を行っているが、財政規模が大幅に減少する状況は見込めない。中長期的に健全な財政運営を維持していくためには、思い切った取組みが必要と考える。③長期総合計画や行政計画を効率的、効果的に実施するため、行政経営推進プランに基づき行政経営に関する取組みを継続して進めてきた。達成状況については、指定管理者制度運用指針を改定し、事務の効率化を図るなど、計画的に取り組んでいる。今後も行政需要や財政の見通しを的確に捉え、必要な修正をしていく。④策定中の指針の目的は、区の統一かつ基本的な考え方を改めて整理し、補助金交付に関する透明性をより高め、検証の仕組みを作るものであ

その他の質問項目

1. 人口推計について
2. 医療体制の構築について
4. 保育における行政の役割について

る。指針に基づく取組みは、行政経営推進プランに掲げる健全で持続可能な財政運営の推進にも寄与するものである。策定した指針、補助金の執行状況等は、ホームページで公表する予定である。審査については、新たに設置する庁内委員会において、個々の補助金の執行内容が交付要件に適合しているかを検証していく。指針により、区の考え方を明確に示し、補助金執行のさらなる適正化に向けて、強い姿勢で取り組んでいく。

教育委員会のあり方について

問 ①次代の子どもを育成する教育方針や内容は、保護者や地域住民の意見等を反映することが重要であり、教育委員会制度は諸課題の解決に向けて十分機能することが求められている。教育委員会のおかれている状況について、認識を伺う。②今後の展望について、所見を伺う。**答** ①教育委員会では、子どもの育つ環境が大きく変化する中、学力や心の問題、家庭での教育力の低下等を課題として捉え、学校土曜公開やこころざし教育等を進めてきた。また、教育の充実・発展には保護者や地域の方等の理解と協力が不可欠であることから、的確に子ども達の実態や要望等を把握し、教育理念や方向性を教育情報誌等で積極的に発信している。本区の教育委員は、豊富な経験や識見とともに学校現場等を積極的に視察しながら実態やニーズの把握に努めており、今後も教育委員会制度の趣旨を活かして、一層積極的かつ的確に施策を実践していく。②平成13年に策定した教育の理念や方向性を示した教育ビジョンについて、取組みの成果と課題を改めて総括している。総括を踏まえ、来年度は新たな学校教育ビジョンを策定するとともに、実施計画である「学びのまち台東区アクションプラン」を改定していく。生涯学習については、生涯学習推進指針を基に、今年度中に実施計画の生涯学習推進プランをまとめる予定である。今後も、次代を担う子ども達をたくましく健全に育てるとともに、家庭教育の充実を含め生涯学習の推進に全力で取り組んでいく。

3. 将来の日本を担う子どもたちの育成について



台東区議会公明党

こさか よしひさ
小坂 義久

区政運営について

問 ①今後の特別区税や特別区交付金の収入見込みをどのように立てているのか。また、財政運営の展望について、所見を伺う。②補助金を交付している各種イベント等について、事業の効果を経済面で評価する仕組みはあるのか。③効率的・効果的な行政システムを実現するため、事務事業のさらなる見直しが必要ではないか。④継続する各事業について、社会情勢やニーズにあった事業内容に見直す判断が必要と考えるが、どうか。**答** ①特別区税や特別区交付金は、景気の変動に左右される部分も大きく、確実に見込むことは困難であるが、今後も大幅な増加が望める状況ではないと考える。「にぎわい いきいき したまち台東」のさらなる実現を図るため、中長期的に健全な財政を維持していくことが必要と考えている。②実績報告書等の内容を踏まえ、イベントの来場者数等を参考にして、補助金交付の効果を検

その他の質問項目

1. 「CSR」(企業の社会的責任)の推進について
2. 「子ども議会」について

証している。③事務事業評価において、事業の改善やスクラップ・アンド・ビルドを進めてきた。また、学識経験者や区民などの第三者の視点での外部評価を実施して、施策の執行状況の評価を行ってきた。今後、他区の実績を参考にしながら、思い切った取組みをしていくことが必要と考えている。④事業の継続にあたり、社会情勢や区民ニーズの把握に努めるとともに、事務事業評価を通じて、事業内容や実施方法の見直しを行ってきた。今後もより効果的な執行に努めていく。

中学校選択制度について

問 中学校選択制度が導入されてから、10年を迎えようとしている。この10年間について、どのような総括をしているのか。また、しっかりと検証を行うべきと考えるが、どうか。**答** 中学校選択制度は、これからの台東区を担う子どもたちが自ら希望する中学校で生き生きとした学校生活を送ることによって、将来にわたって必要となる「生きる力」を身に付けることを目的としている。学校間で生徒数に格差が生まれるなどの課題はあるが、制度の目的は概ね達成できているものと認識している。細やかなアンケート調査をはじめとする手法により検証し、より良い制度となるよう努めていく。



台東区議会みんなの党・無所属クラブ

すずき いちろう
鈴木 一郎

区民の運動習慣向上について

問 健康促進のためには、適度な運動を習慣的に行うことが必要である。本区も健康推進委員の任命など様々な取組みを行っているが、新たなキャンペーンを行うことについてどのように考えているのか。**答** 教育委員会では平成21年に台東区スポーツ振興基本計画を策定し、これを基に、スポーツ